

平成 30 年度 筑波大学体操コーチング論研究室 論文発表会

日時：平成 31 年 2 月 3 日（日） 午前 10 時より

場所：筑波大学中央体育館体操場

10:00～

<卒業論文>10分発表 5分質疑

- ・ボールキャッチ技術向上のための用具を活用した運動プログラム試案
ーコーディネーション能力に着目してー 松山隆太（学群4年）
- ・キャッチング技術向上のための用具開発とその使用感 島実沙樹（学群4年）
- ・ヘディング能力向上をねらいとした運動プログラムの考案 鶴巻俊介（学群4年）
- ・シュピンドルの運動経験が棒高跳における技術習得に及ぼす影響 久宿実結（学群4年）

休憩 ティータイム

- ・知的障害者施設における定期的な G ボール活動
ー指導者に対する半構造化インタビューに着目してー 江原宇宙（学群4年）
- ・東日本大震災による帰還困難区域の仮設中学校における
バドミントン部活動の事例報告について 下川大樹（学群4年）
- ・2本のスラックラインを用いた走動作改善のプログラム試案
ー骨盤の動きに着目してー 寺井翔太（学群4年）
- ・カウンタースイング動作に対して抜刀動作が与える影響に関する一考察 山下陽希（学群4年）

12時15分 サンドイッチなど軽食をとりながら

<自己紹介> 新3年生、堀口文（特任助教）

<卒業論文・着手発表> 5分発表のみ

工藤実里、野村千紘、高木悠汰、松田賢征、青木太我（学群3年）

<ドイツ留学計画>10分発表のみ

金井茂樹（院前期1年）

集合写真 撮影

13:15分～

<修士論文・着手発表> 10分発表 5分質疑

- ・大学体育における ICT 活用の試み
ー身体技法のコンテンツ構築に着目してー 松浦稜（院前期1年）

<博士・進捗報告>15分 10分質疑

- ・親子体操教室における参加者の「関係の変化」
ー指導者の対話による省察からの一考察ー 古屋朝映子（博士課程）
- ・小学校中学年児童を対象とした G ボールの安全な学習指導方法の構築 田村元延（博士課程）

14:45～ 講評 本谷聡 長谷川聖修

15:00～ <話題提供> 研究の動向ならびに受賞報告 本谷聡

15:05 終了

お時間のある方は、ティータイムで情報交換